

栗 東 市
子育て支援に関する
アンケート調査結果報告書
概要版

令和6年5月

栗 東 市

目次

I. 調査の概要	1
II. 調査結果のポイント.....	2
1. 家族の状況と子どもの育ちをめぐる環境.....	2
2. 両親の就労状況・就労意欲	5
3. 教育・保育事業の利用状況と利用希望.....	8
4. 地域子ども・子育て支援事業の利用状況.....	11
5. 小学生の放課後の過ごし方	13
6. 職場の両立支援制度.....	16
7. 子育て支援全般	17
8. 小学生本人へのアンケート	19
9. 潜在保育士の就労状況.....	21

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、令和7年度から令和11年度までを計画期間とする「第3期子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたって、本市における教育・保育事業や子育て支援事業の利用状況や希望を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施したものです。

2. 調査の実施方法と配布・回収状況

栗東市子育て支援に関するアンケート調査【就学前調査】			
対象者	栗東市内に居住する就学前児童の保護者		
実施期間	令和6年2月22日(木)～令和6年3月8日(金)		
配布方法	郵送	回答方法	郵送・Web
配布数	2,000 件	有効回答数/有効回答率	965 件/48.3%(Web26.6%)

栗東市子育て支援に関するアンケート調査【小学生調査】			
対象者	栗東市内に居住する小学生の保護者		
実施期間	令和6年2月22日(木)～令和6年3月8日(金)		
配布方法	郵送	回答方法	郵送・Web
配布数	1,000 件	有効回答数/有効回答率	526 件/52.6%(Web28.4%)

3. 調査結果の見方

◇回答は、各質問の回答者数(N)を基数とした百分率(%)で示しています。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%を前後することがあります。

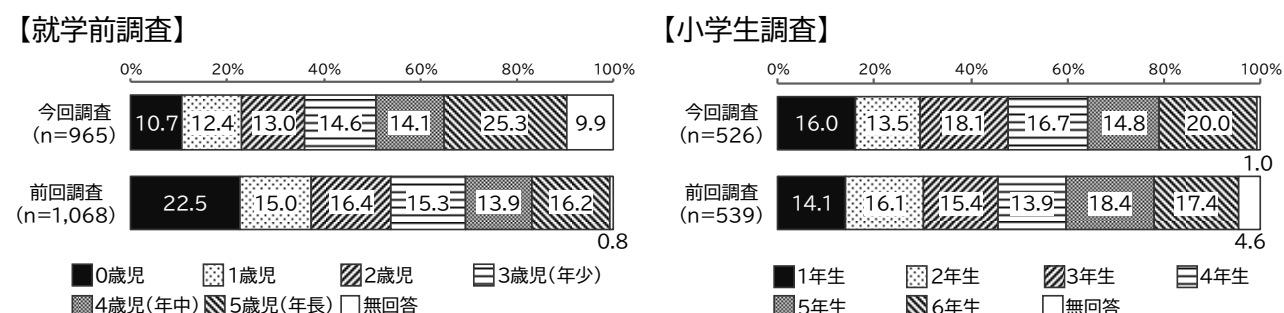
◇複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えています。

◇本文中のグラフや数表で、コンピュータ入力の都合上、回答選択肢の見出しを簡略化している場合があります。

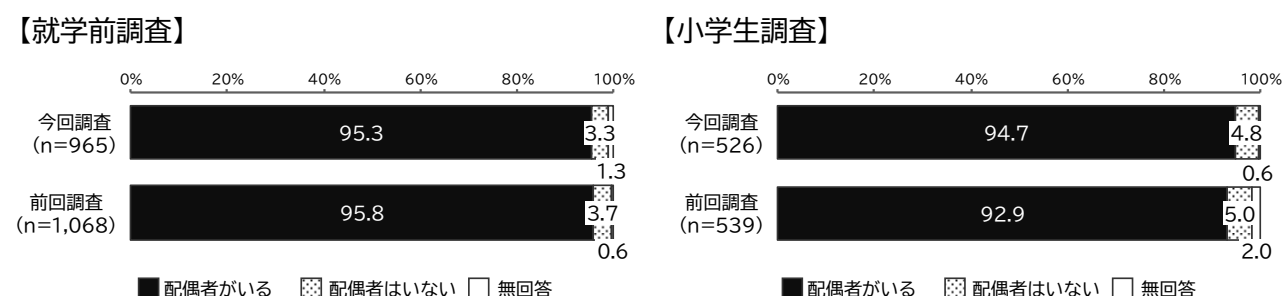
Ⅱ．調査結果のポイント

1．家族の状況と子どもの育ちをめぐる環境

(1) 対象児童の年齢（数量回答）

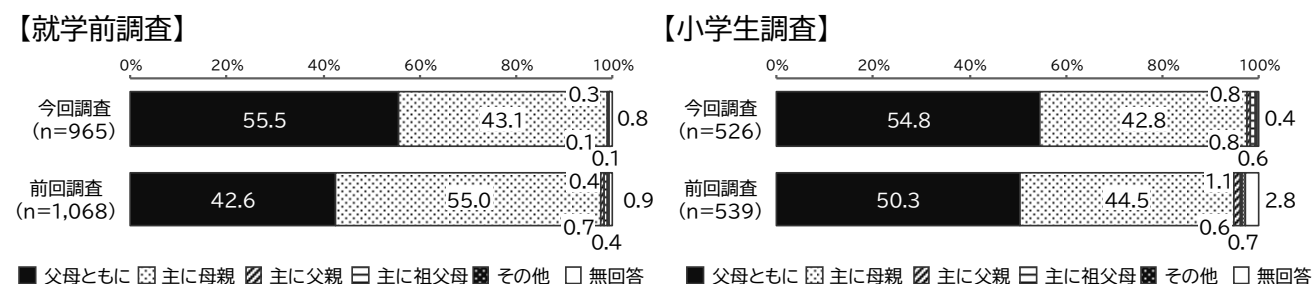


(2) 回答者の配偶者の状況と子育ての主体者（単数回答）



(3) 子育ての主体者（単数回答）

●子育てを主に担っている人については、前回調査の就学前児童の保護者では「主に母親」が50%を超えていましたが、今回調査では「父母ともに」が50%を超え、「主に母親」の割合を上回っています。小学生児童の保護者でも「父母ともに」の割合が前回調査より増加しています。

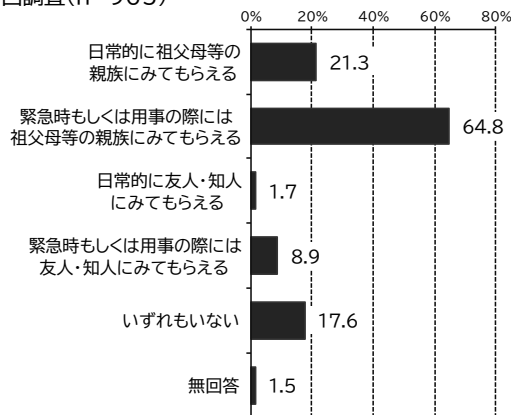


(4) 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無（複数回答）

- 就学前では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が64.8%と多く、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」割合も20%を超えています。小学生でも同様の傾向で、緊急時に祖父母等の親族にみてもらえる割合は55.7%、日常的にみてもらえる割合は20%近くになっています。
- 一方、就学前の17.6%、小学生の22.1%が「いずれもない」と回答しています。

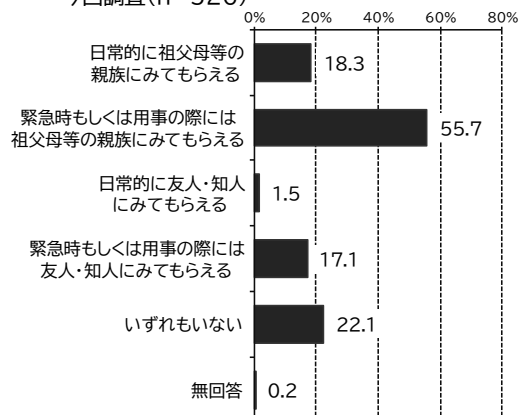
【就学前調査】

今回調査(n=965)



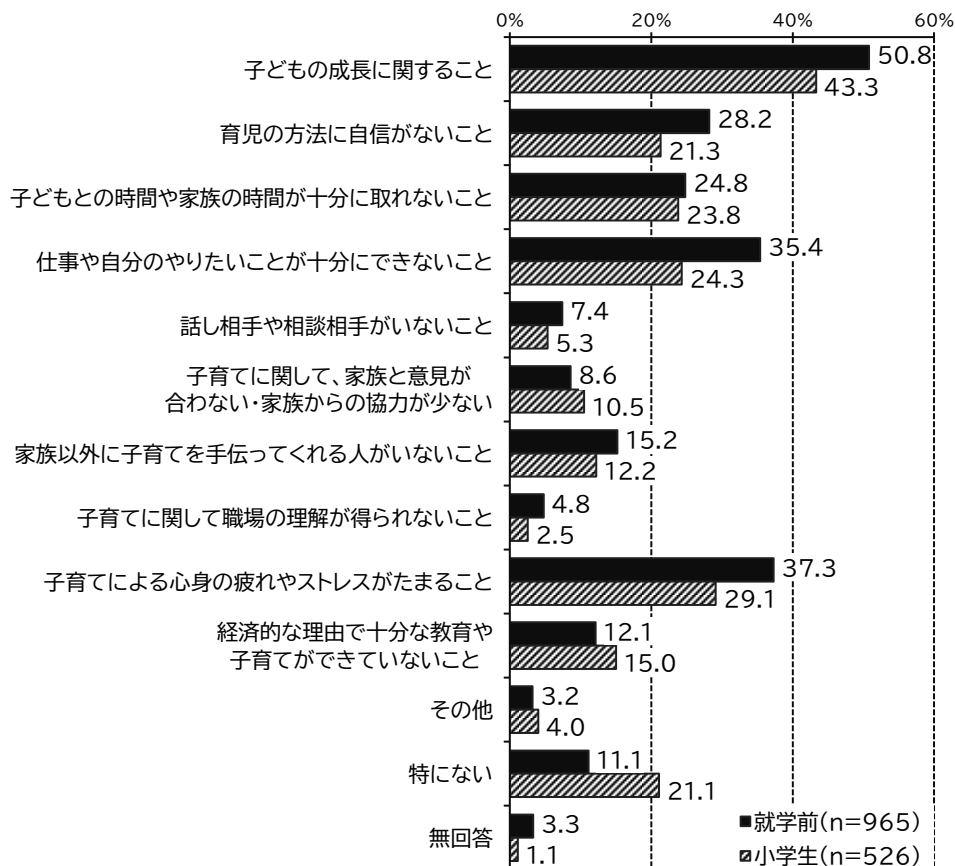
【小学生調査】

今回調査(n=526)



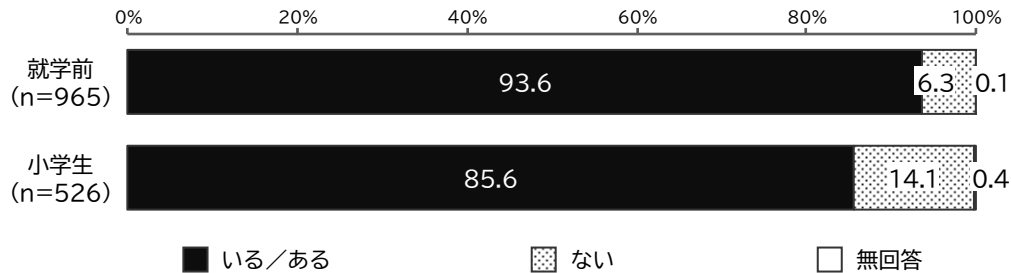
(5) 子育てについて、特に不安や負担等を感じる事、また気になること（複数回答）

- 子育てについて特に不安や負担等を感じる事、気になることについては、「子どもの成長に関すること」が就学前で50.8%、小学生で43.3%と最も多く、また、「子育てによる心身の疲れやストレスがたまること」、「仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと」、「育児の方法に自信がないこと」、「子どもとの時間や家族の時間が十分に取れないこと」の割合が就学前、小学生ともに2割を超えています。



(6) 相談相手の存在（単数回答）

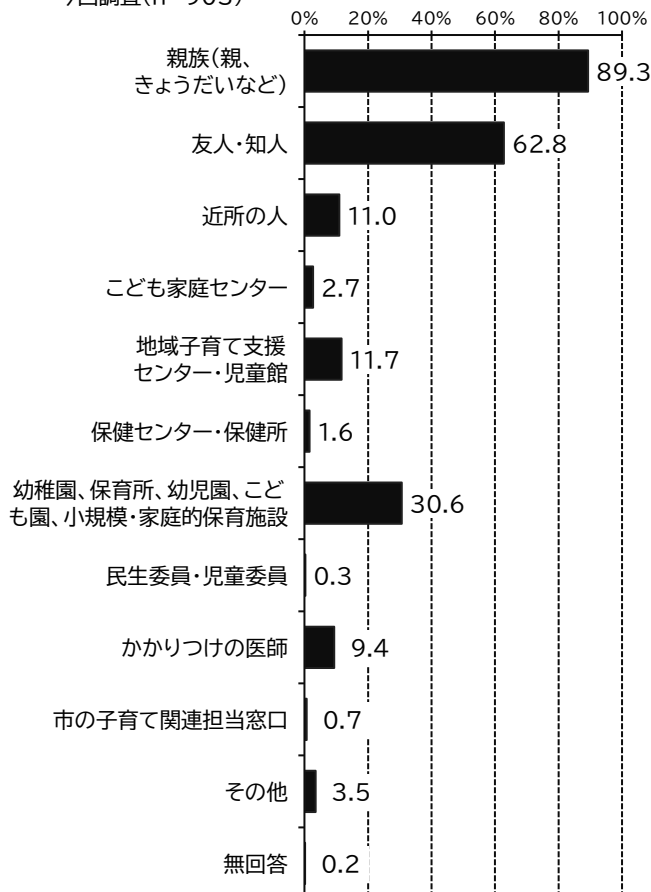
- 子育てについて気軽に相談できる人や場の有無については、就学前の 93.6%、小学生の 85.6%が「いる／ある」と回答している一方で、就学前の 6.3%、小学生の 14.1%が「ない」と回答しています。
- 子育ての相談先は、就学前の 89.3%、小学生の 83.8%が「親族(親、きょうだいなど)」と回答し、最も多くなっています。次いで、「友人・知人」が就学前、小学生ともに 60%以上となっています。



【就学前調査】

《気軽に相談できる相手／機関》

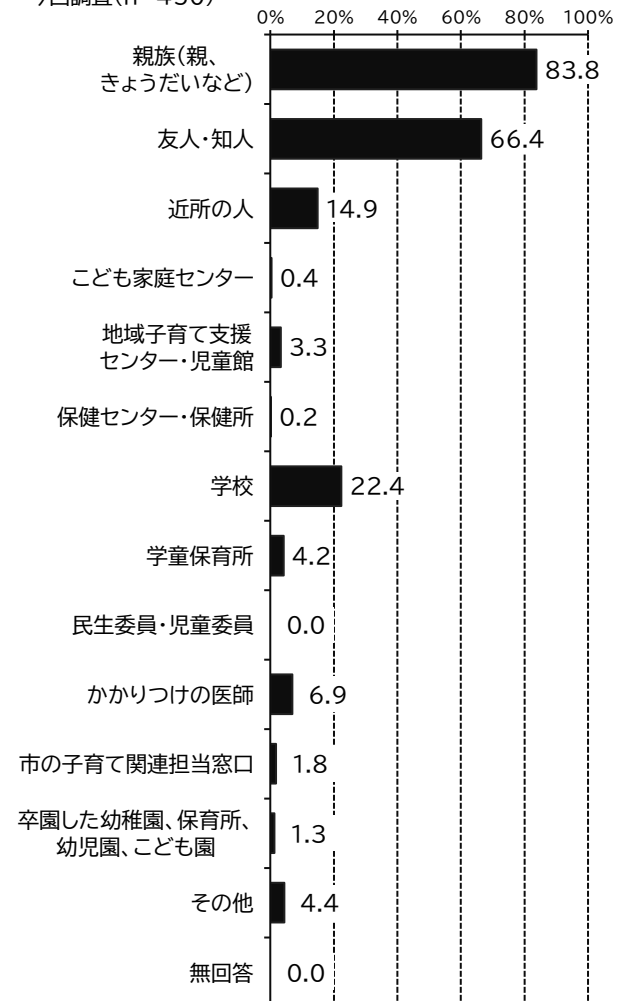
今回調査(n=903)



【小学生調査】

《気軽に相談できる相手／機関》

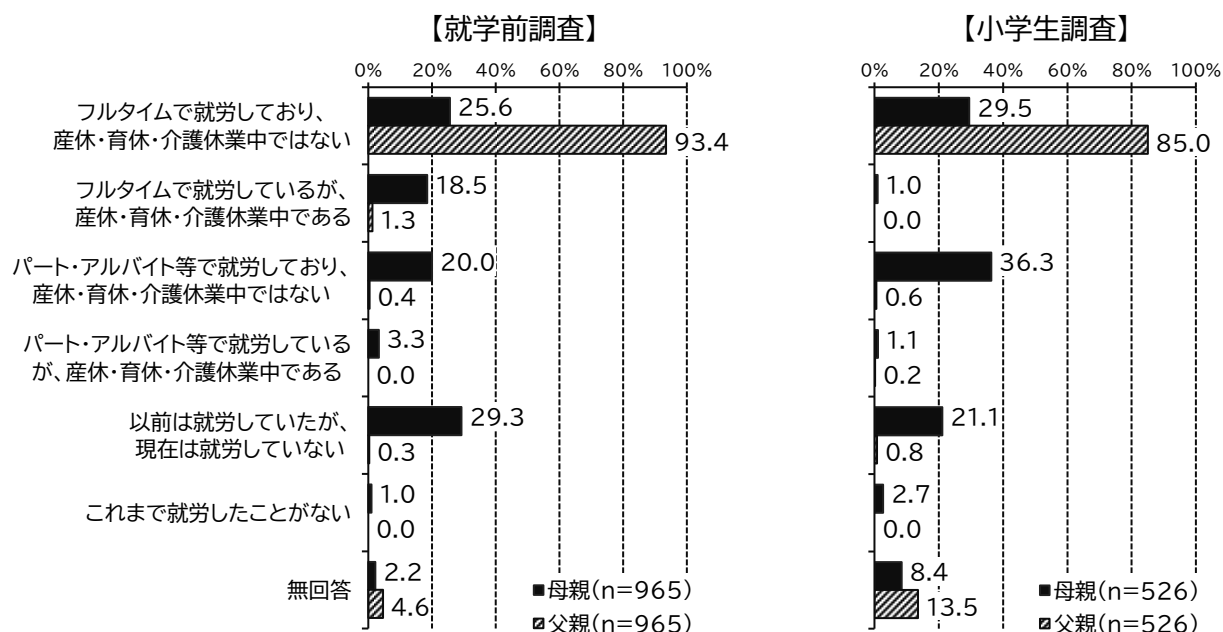
今回調査(n=450)



2. 両親の就労状況・就労意欲

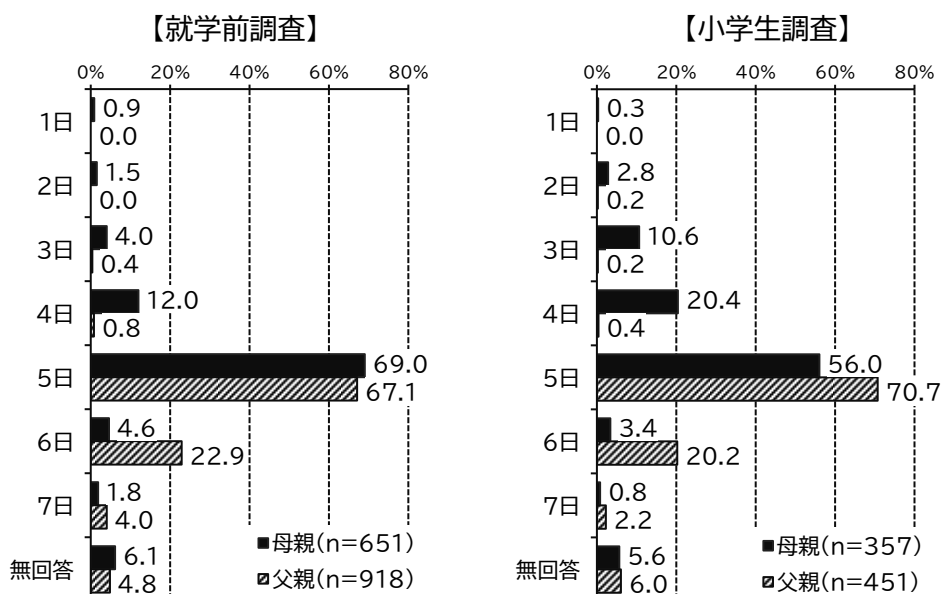
(1) 現在の就労状況について（単数回答）

- 母親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が就学前で 25.6%、小学生で 29.5%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が就学前で 20.0%、小学生で 36.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が就学前で 29.3%、小学生で 21.1%となっています。
- 父親の就労状況については、就学前の 93.4%、小学生の 85.0%が、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」となっています。



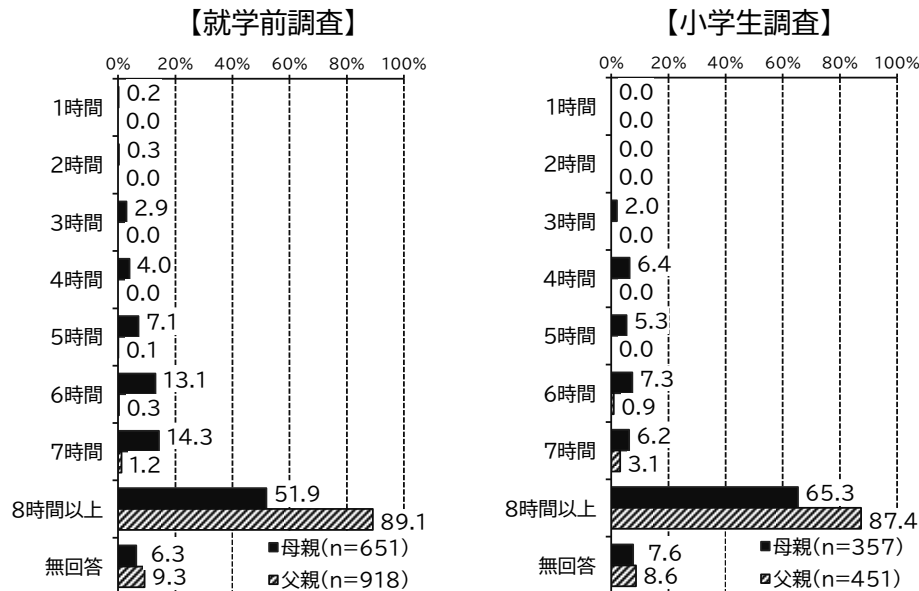
(2) 就労日数（数量回答）

- 働いている父母の就労日数については、就学前の母親では 75.4%、小学生の母親では 60.2%が週5日以上働いています。父親では、就学前・小学生とも9割以上が週5日以上働いています。



(3) 就労時間（数量回答）

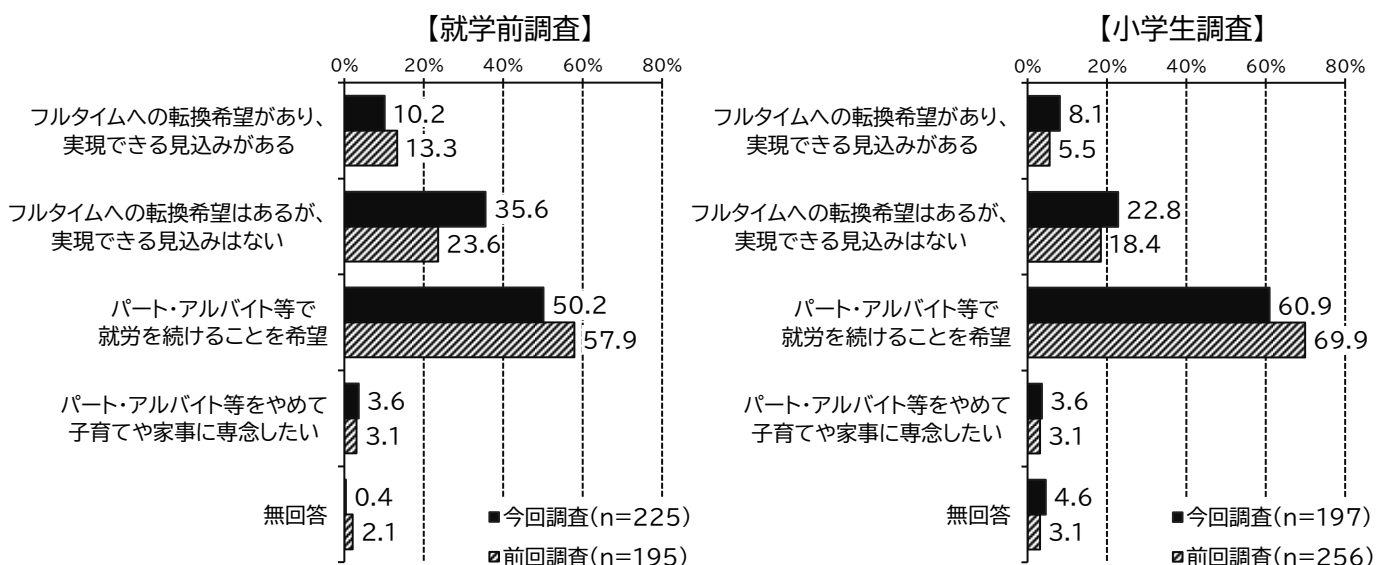
●働いている父母の就労時間については、就学前の母親では 51.9%、小学生の母親では 65.3%が1日に8時間以上働いています。父親では、就学前・小学生ともに約9割が8時間以上働いています。



(4) 現在、パート・アルバイト等で働いている方のフルタイムへの転換希望《母親》（単数回答）

●パート・アルバイト等で働いている母親のフルタイムへの転換希望では、「パート・アルバイト等で就労を続けることを希望」する割合は、就学前で 50.2%、小学生で 60.9%となっています。また、フルタイムへの転換を希望する割合（「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」を合わせた割合）は、就学前で 45.8%、小学生で 30.9%となっています。

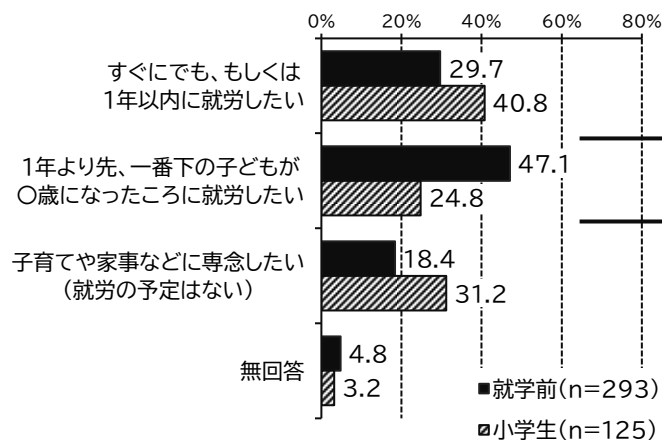
●前回調査と比較すると、「パート・アルバイト等で就労を続けることを希望」の割合が就学前で 7.7 ポイント、小学生で 9.0 ポイント減少しています。一方、フルタイムへの転換を希望する割合（「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」を合わせた割合）は、就学前で 8.9 ポイント、小学生で 7.0 ポイント増加しています。



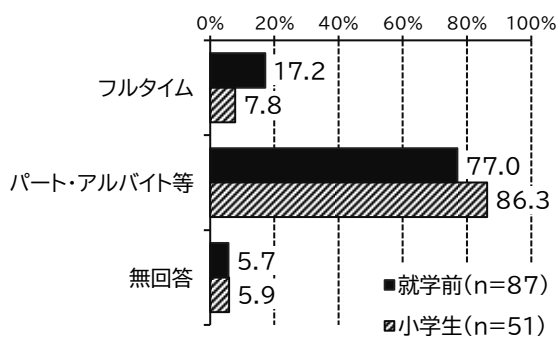
(5) 現在、就労していない方の働きたいという希望《母親》(単数回答)

- 就学前では、「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達したところに就労したい」が 47.1%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 29.7%、小学生では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 40.8%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が 31.2%となっています。
- 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」人が希望する就労形態は、「パート・アルバイト等」が就学前で 77.0%、小学生で 86.3%となっています。
- 就労を希望する子どもの年齢については、就学前では、「3～4歳」が 37.0%で最も多く、小学生では、「11～12歳」が 32.3%で最も多くなっています。

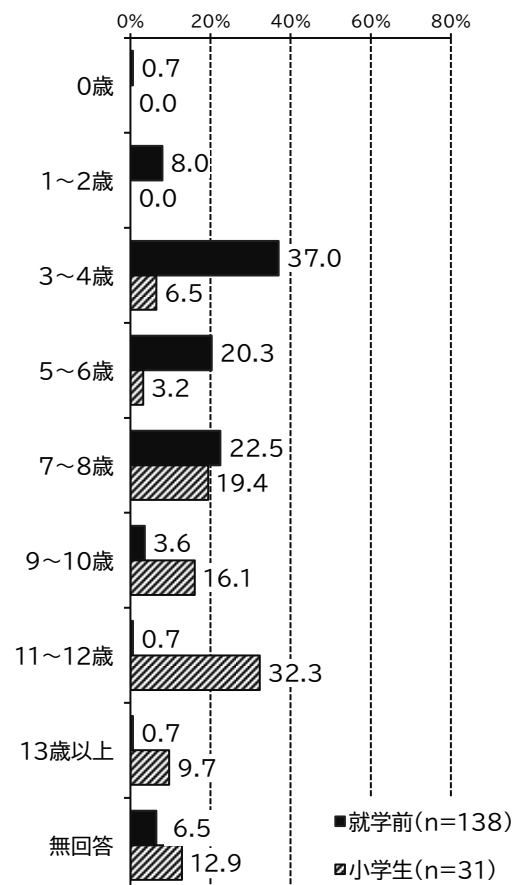
《未就労の方の就労希望》



《希望する就労希望》



《就労を希望する子どもの年齢》

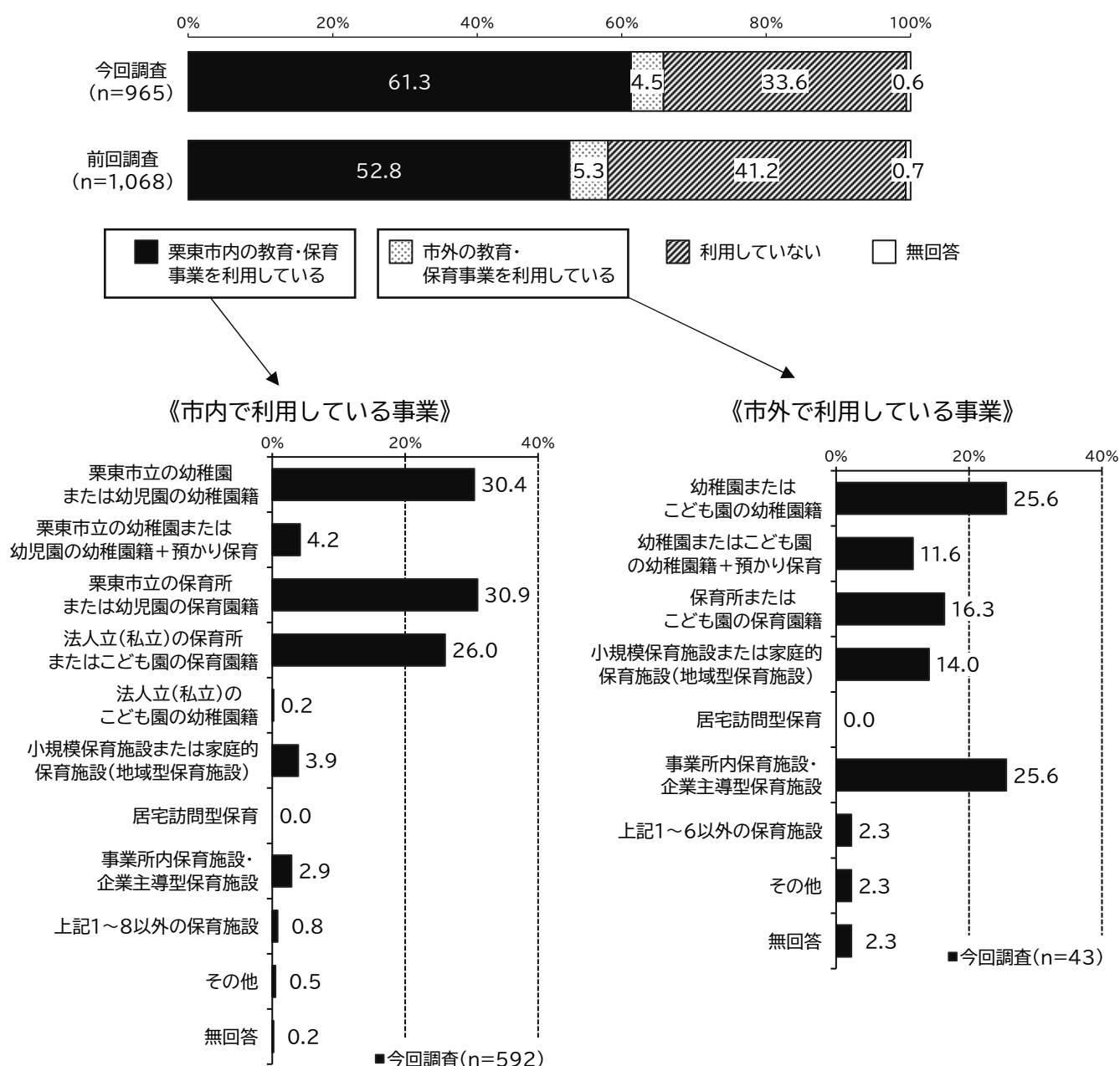


3. 教育・保育事業の利用状況と利用希望

(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況（単数回答）

- 平日の定期的な教育・保育事業の利用については、市内の教育・保育事業を利用している人が 61.3%、市外の教育・保育事業を利用している人が 4.5%、利用していない人が 33.6%となっています。
- 前回調査と比較すると、市内の教育・保育事業を利用している人の割合が 8.5 ポイント高くなっています。
- 市内の教育・保育事業を利用している人の内訳は「栗東市立の保育所または幼稚園の保育園籍」が 30.9%、「栗東市立の幼稚園または幼稚園の幼稚園籍」が 30.4%、「法人立(私立)の保育所またはこども園の保育園籍」が 26.0%となっています。市外では「幼稚園またはこども園の幼稚園籍」と「事業所内保育施設・企業主導型保育施設」がそれぞれ 25.6%となっています。

【就学前調査】

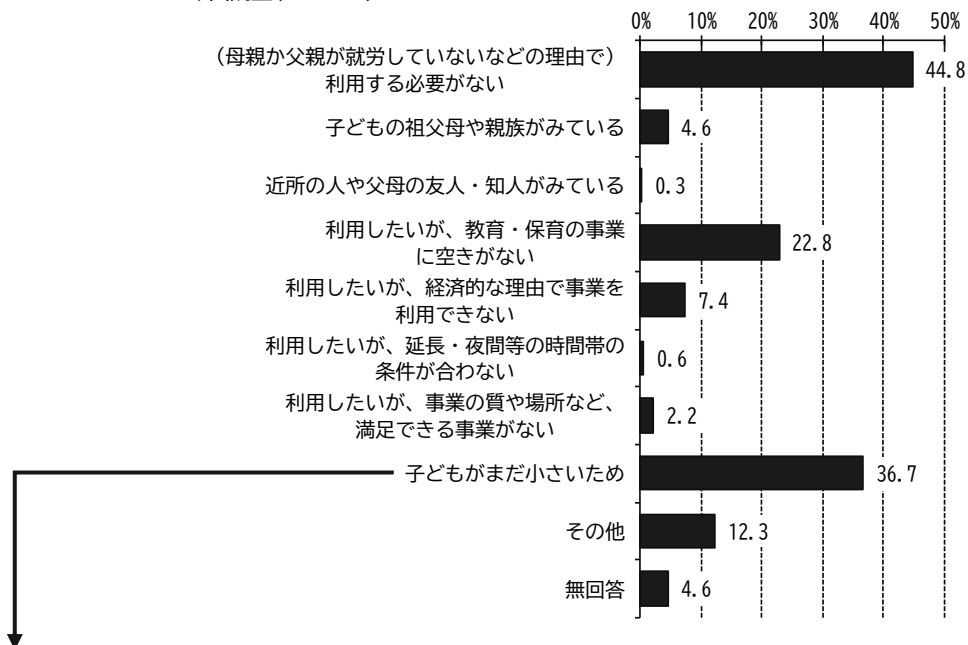


(2)「定期的な教育・保育事業」を利用していない方の理由（複数回答）

- 利用していない主な理由としては、「(母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない」が44.8%と最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため」が36.7%となっています。
- 事業の利用開始年齢については、「1歳」と「3歳」がともに37.0%で最も多くなっています。
- 「利用したいが、教育・保育の事業に空きがない」も22.8%となっており、引き続き、教育・保育の受け皿の拡大が必要とされていることがうかがわれます。

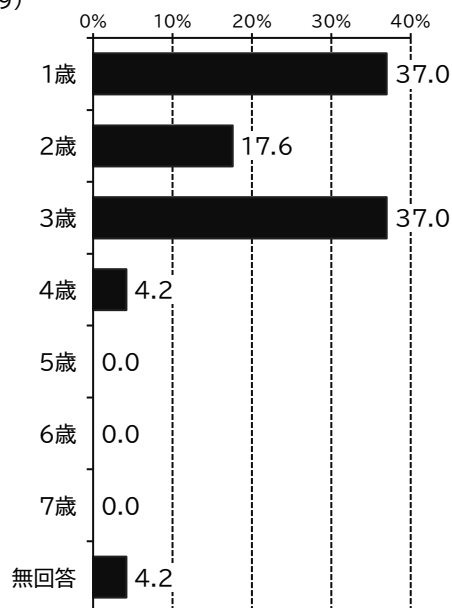
【就学前調査】

今回調査(n=324)



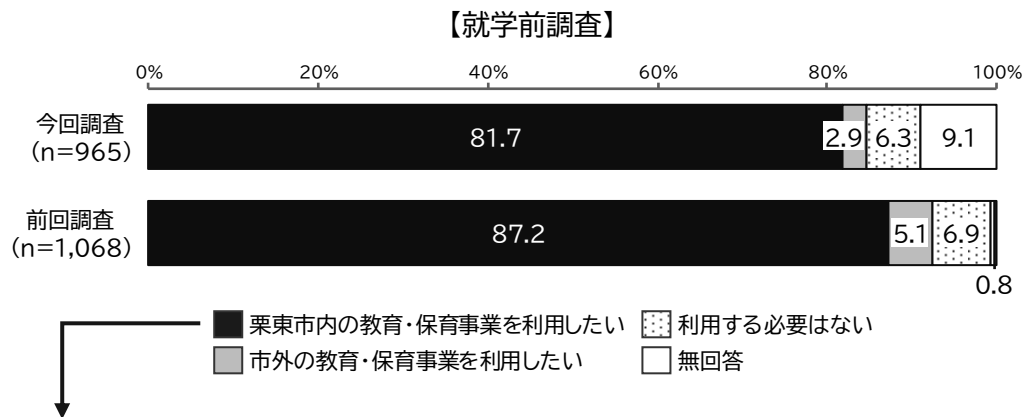
《平日の定期的な教育・保育事業を利用しようと考えている年齢》

今回調査(n=119)

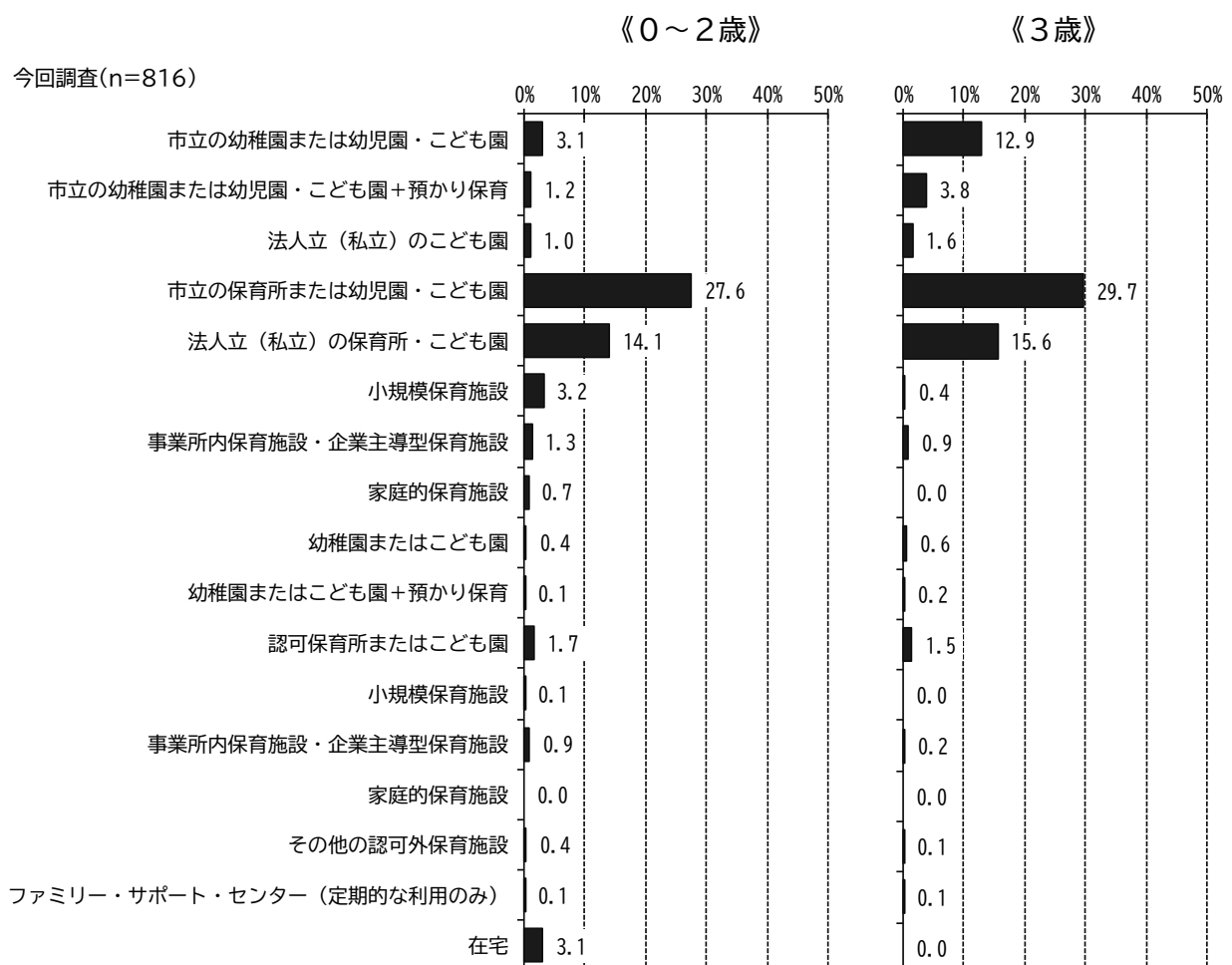


(3) 平日の「定期的な教育・保育の事業」の利用意向（単数回答）

- 今後の「定期的な教育・保育の事業」の利用意向については、「栗東市内の教育・保育事業を利用したい」が 81.7%を占め、「市外の教育・保育事業を利用したい」が 2.9%となっています。一方、「利用する必要はない」が 6.3%となっています。
- 利用したいと考えている事業では「市立の保育所または幼稚園・こども園」が 0～2 歳では 27.6%、3 歳では 29.7%と最も多くなっています。



【平日の定期的な教育・保育事業を利用したいと考えている事業（※事業を抜粋）】

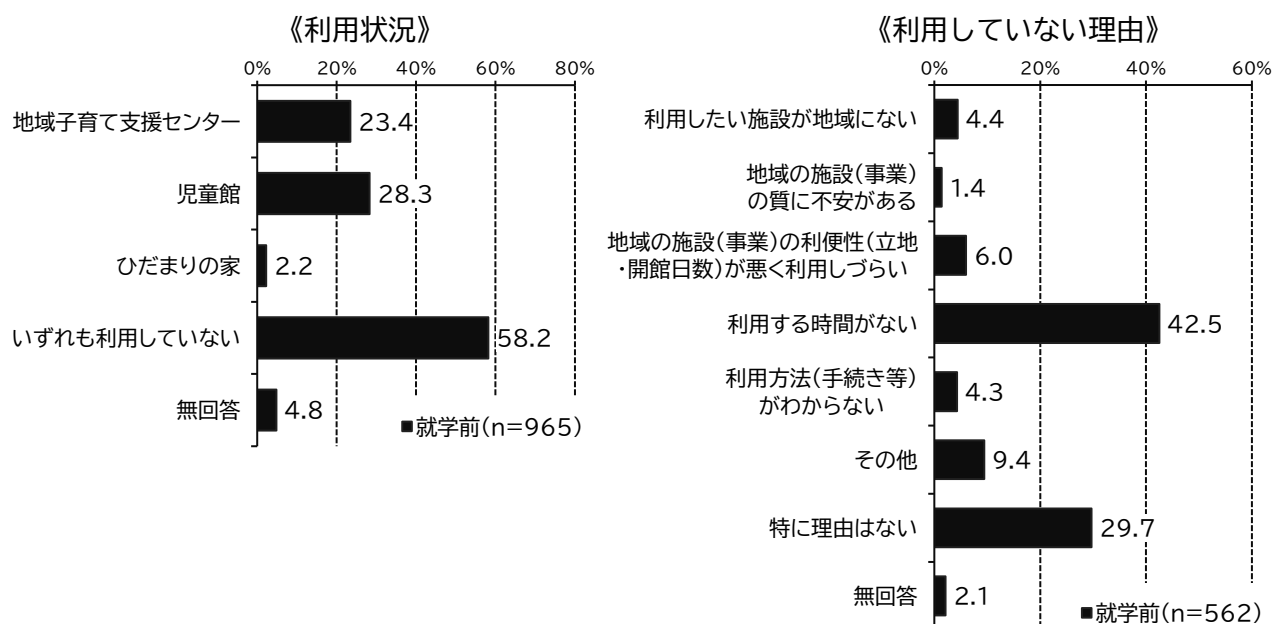


4. 地域子ども・子育て支援事業の利用状況

(1) 子育て支援センター・児童館・ひだまりの家の利用状況・未利用の理由について（複数回答）

●「地域子育て支援センター」が 23.4%、「児童館」が 28.3%となっている一方、「いずれも利用していない」が 58.2%となっています。利用していない理由については、「利用する時間がない」が 42.5%となっています。

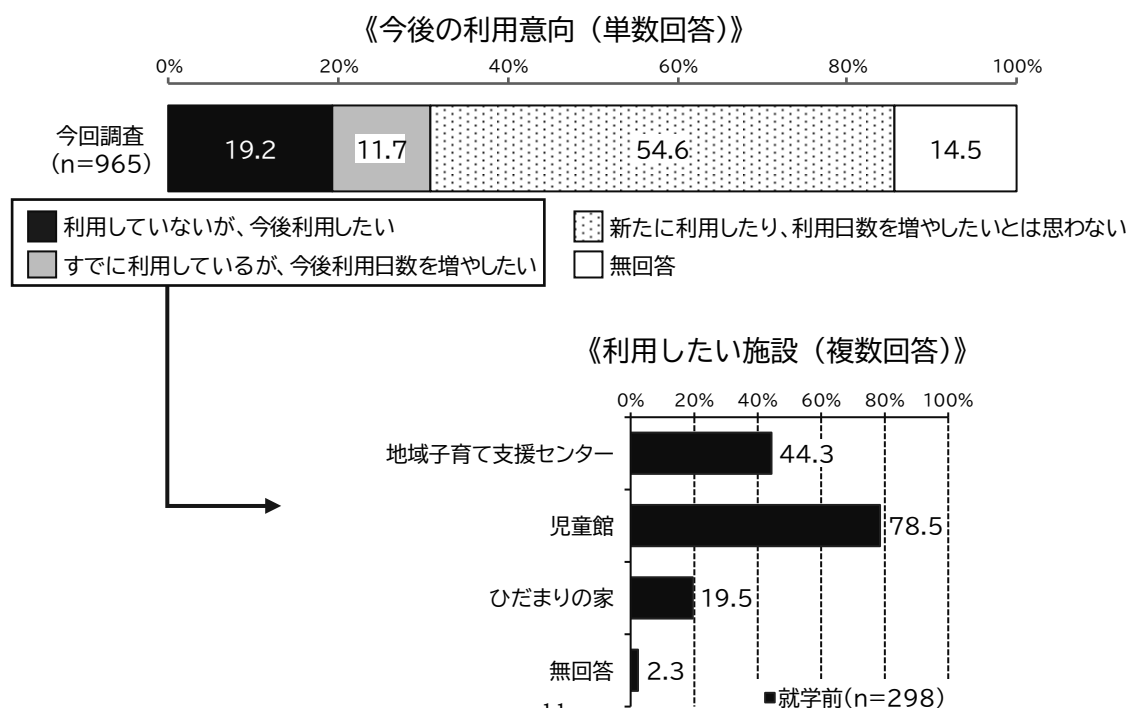
【就学前調査】



(2) 子育て支援センター・児童館・ひだまりの家の利用希望・希望する施設（単数回答・複数回答）

●今後の利用については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 54.6%となっています。利用者や今後利用したい人が利用したい施設は「児童館」が 78.5%で最も多くなっています。

【就学前調査】

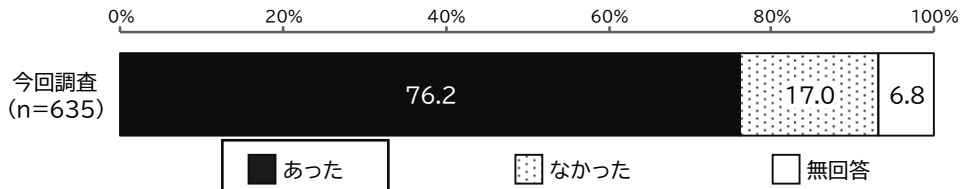


(3) 子どもが病気の際の対応（単数回答・複数回答）

- 子どもの傷病時による対応の必要有無では、「あった」が 76.2%となっています。その際の対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が 75.6%で最も高くなっています。
- 病児・病後児保育の利用意向は「利用したいとは思わなかった」が 70.0%を占めています。その理由としては、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が 50%を超えています。

【就学前調査】

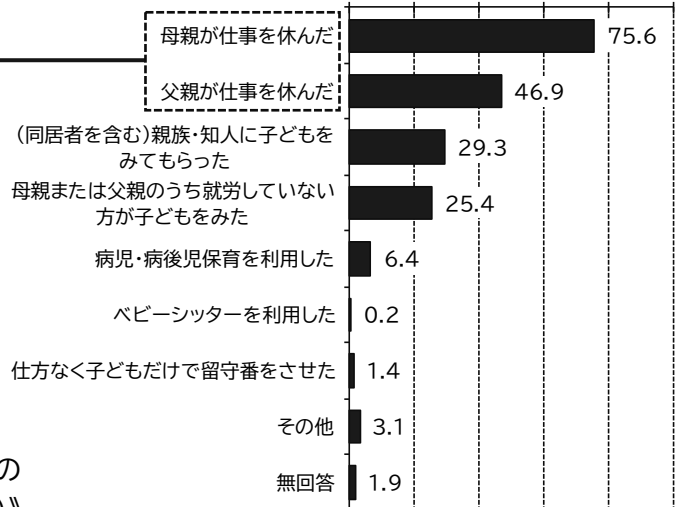
《子どもの傷病により事業を利用できなかったこと（単数回答）》



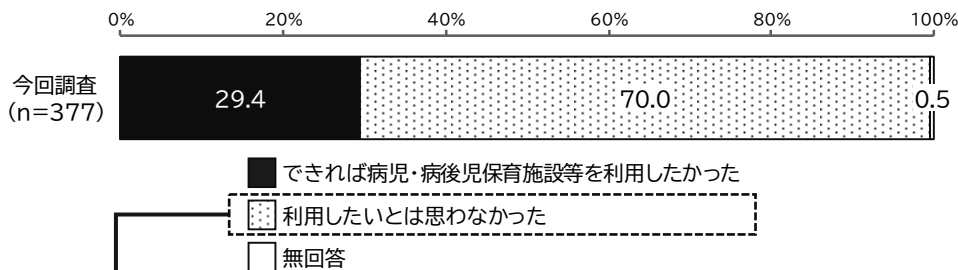
《対処方法（複数回答）》

今回調査(n=484)

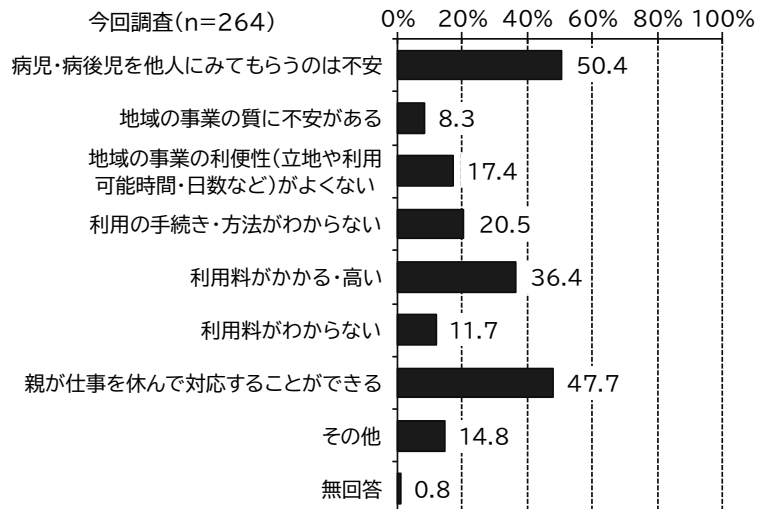
0% 20% 40% 60% 80% 100%



《仕事を休んだと回答した父親または母親の病児・病後児保育の利用希望（単数回答）》



《病児・病後児保育を利用したいと思わなかった方の理由（複数回答）》



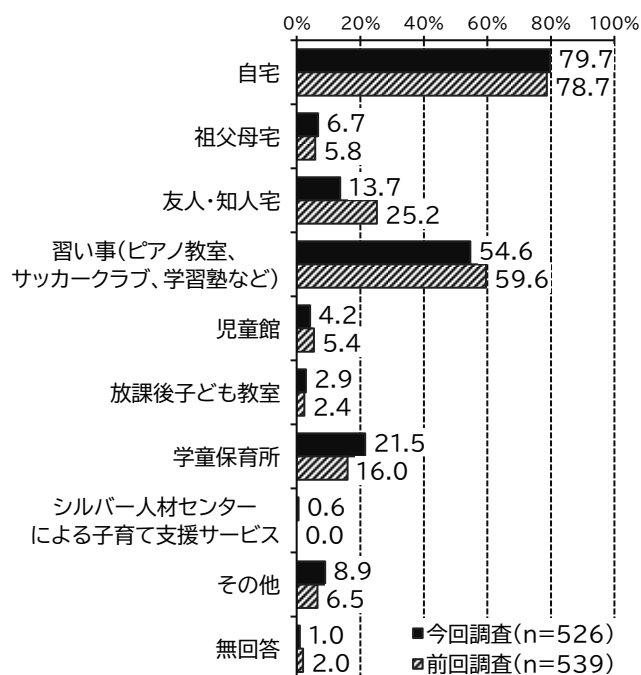
5. 小学生の放課後の過ごし方

(1) 放課後を過ごしている場所、今後過ごさせたい場所（複数回答）

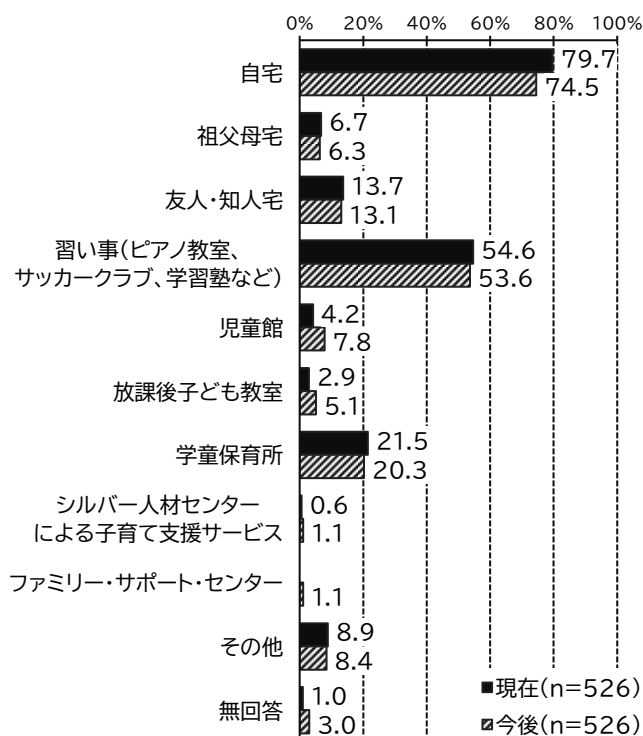
●放課後を過ごしている場所については、「自宅」が 79.7%で最も多く、次いで「習い事」が 54.6%となっています。「学童保育所」は 21.5%で、前回調査よりも多くなっています。

【小学生調査】

《放課後を過ごしている場所》



《現在と今後の比較》

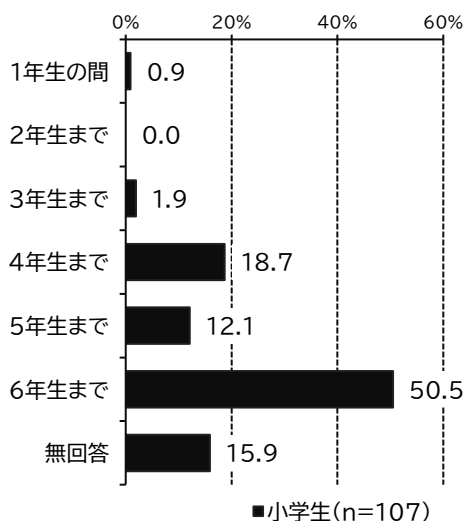


(2) 学童保育を利用したい学年、長期休暇期間（夏休み）の学童保育の利用希望（単数回答）

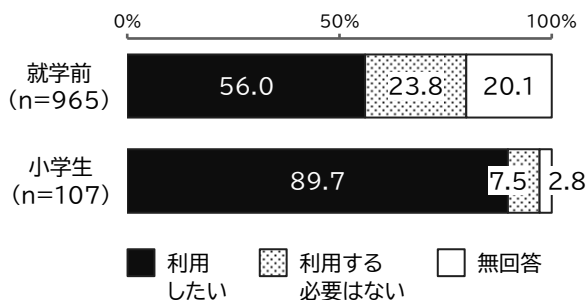
●学童保育を利用したい人の中では、「6年生まで」利用したいという人が最も多く、50.5%となっています。夏休みなどの長期休暇期間中も学童保育を利用したい人は、小学生では 89.7%となっています。うち、夏休み等のみ利用したい人は、小学生で 37.5%となっています。

【小学生調査】

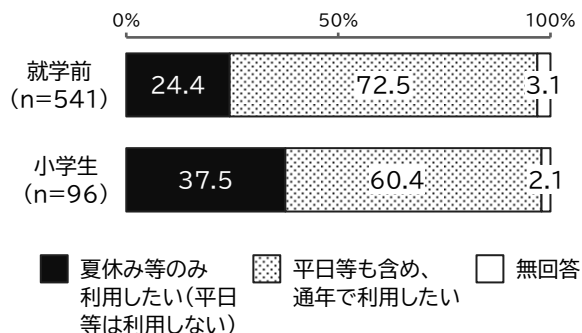
《利用したい学年》



《長期休暇期間（夏休み）の学童保育の利用希望》



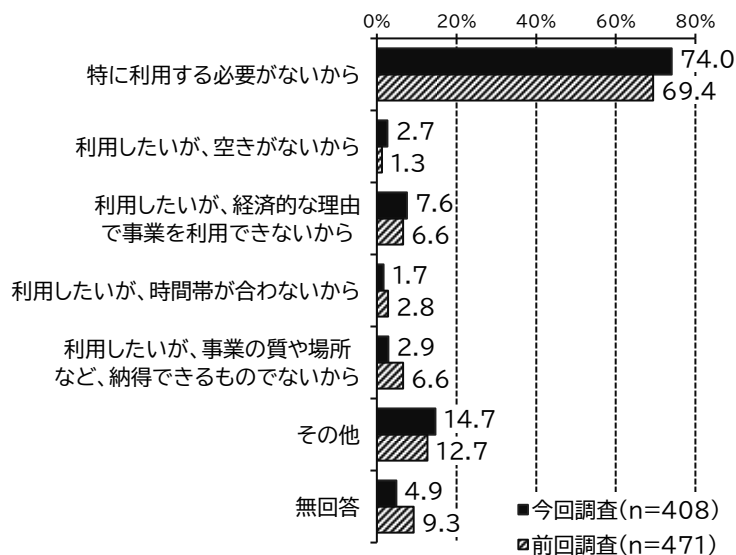
《長期休暇期間(夏休み等)のみの利用希望》



(3) 学童保育を利用していない理由（複数回答）

●学童保育を利用していない理由では、前回調査と同様に「特に利用する必要がないから」が 74.0%で最も多くなっています。

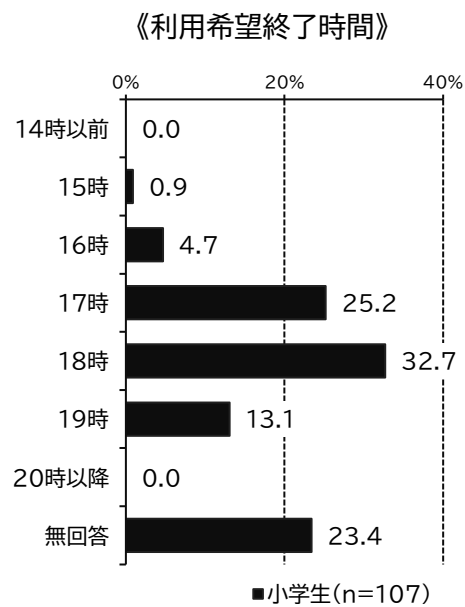
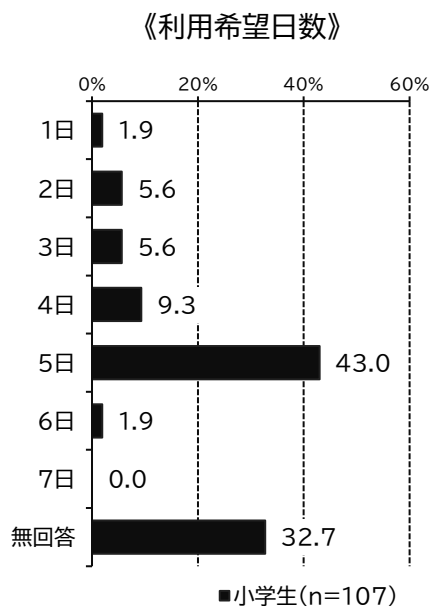
【小学生調査】



(4) 学童保育の利用希望日数と利用希望終了時間（数量回答）

●学童保育を利用したい人の中では、週5日利用したいという人が最も高く、43.0%となっています。利用希望の時間帯では、18 時台までが 32.7%、17 時台までが 25.2%となっています。

【小学生調査】

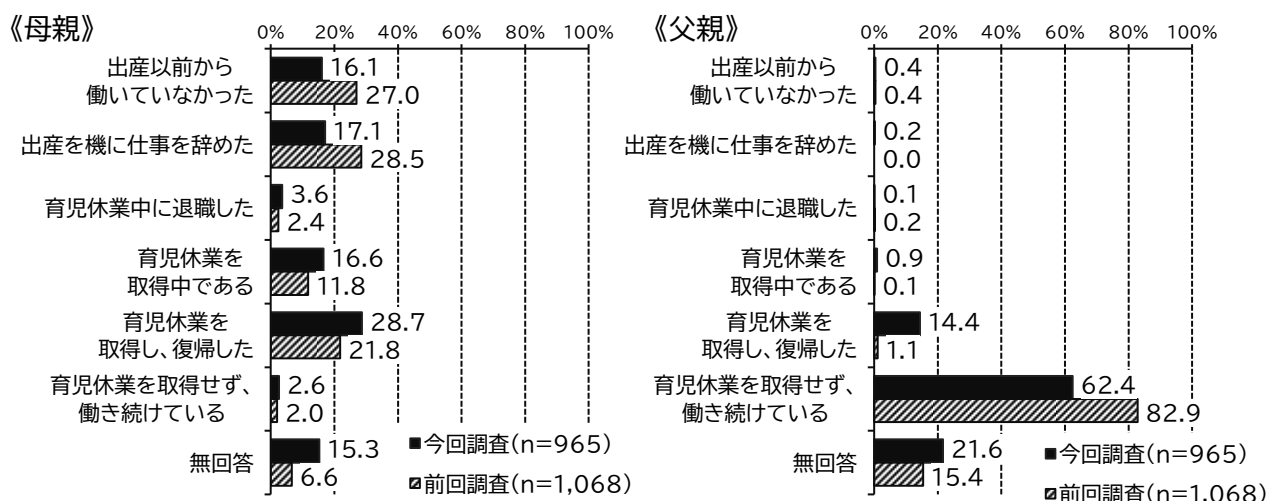


6. 職場の両立支援制度

(1) 育児休業の取得について（単数回答）

- 育児休業の取得については、母親では「育児休業を取得し、復帰した」が 28.7%と最も多く、次いで、「出産を機に仕事を辞めた」が 17.1%、「育児休業を取得中である」が 16.6%となっています。
- 父親では、今回調査でも「育児休業を取得せず、働き続けている」が 62.4%と多くを占めていますが、「育児休業を取得し、復帰した」(14.4%)の割合が前回調査に比べて増加しています。

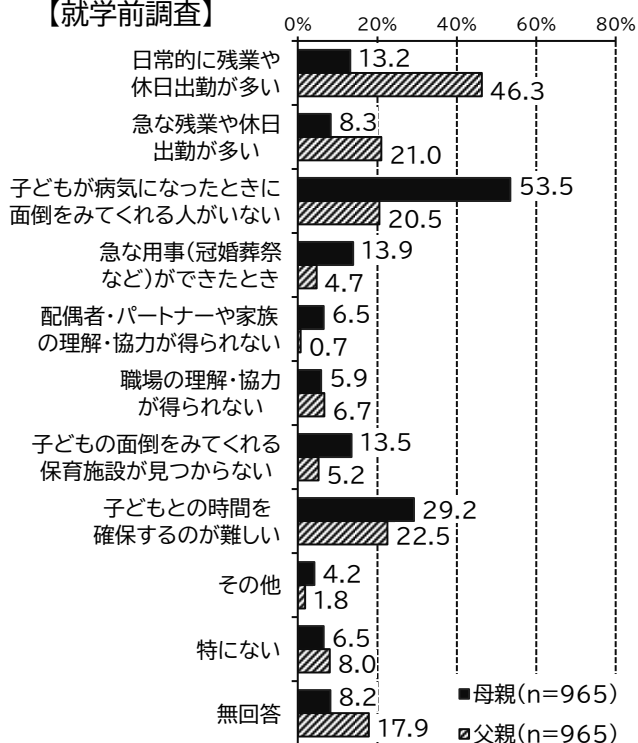
【就学前調査】



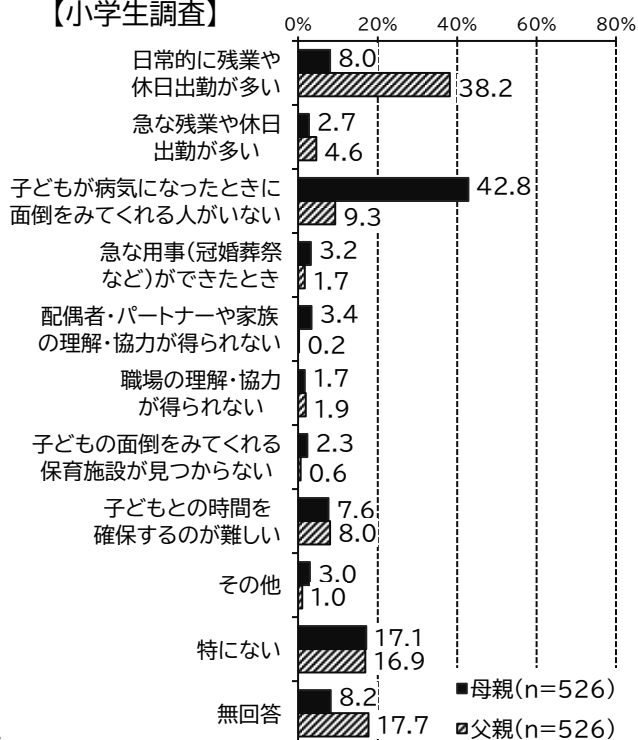
(2) 子育てと仕事の両立で大変だと感じること（複数回答・選択は2つまで）

- 子育てと仕事の両立で大変だと感じることは、母親では「子どもが病気になったときに面倒をみてくれる人がいない」が、就学前 53.5%、小学生 42.8%と最も多くなっています。
- 父親では、「日常的に残業や休日出勤が多い」が就学前 46.3%、小学生 38.2%と最も多くなっています。

【就学前調査】



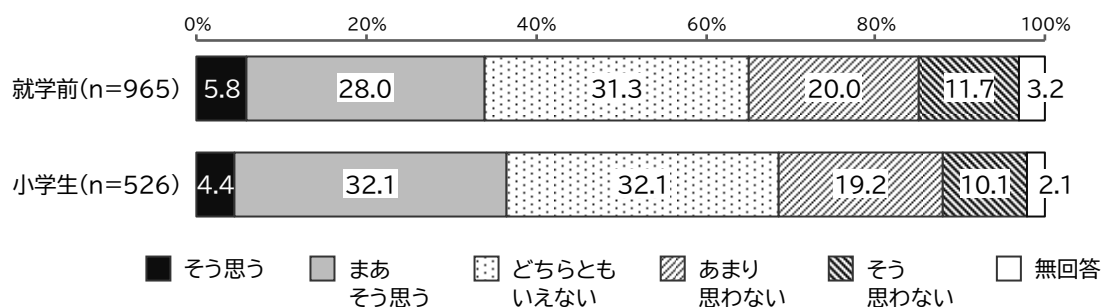
【小学生調査】



7. 子育て支援全般

(1) 栗東市は子育てしやすいまちだと思いますか（単数回答）

●栗東市は子育てしやすいまちだと思うかについて、「そう思う」と「まあそう思う」の合計が就学前で 33.8%、小学生で 36.5%、「あまり思わない」と「そう思わない」の合計が就学前で 31.7%、小学生で 29.3%となっており、子育てしやすいと考える人のほうが多くなっています。

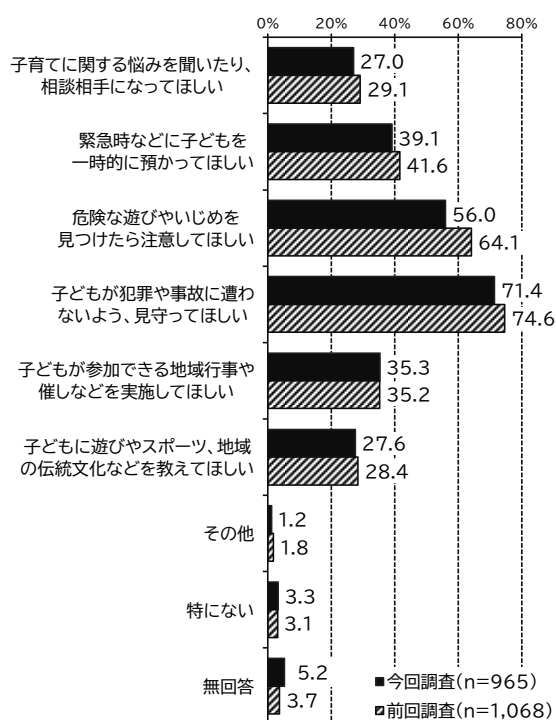


(2) 子育て支援として地域の人に希望すること（複数回答）

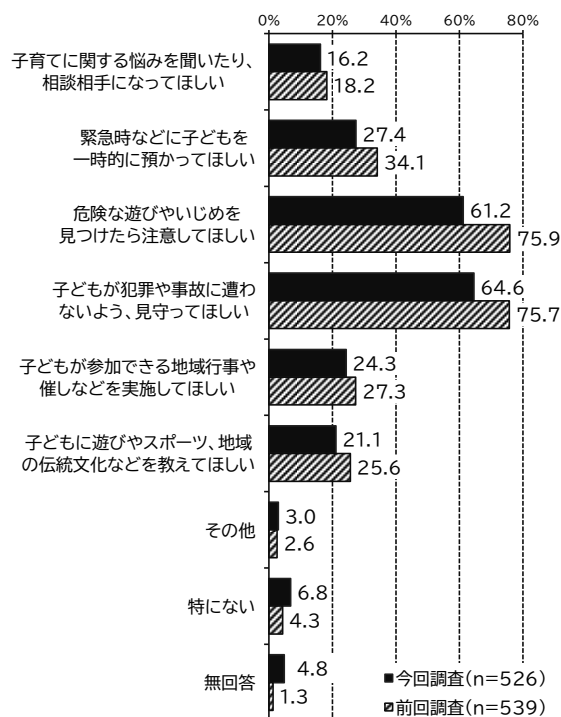
●地域の人に希望することは、就学前、小学生ともに「子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい」が最も多く、次いで、「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」、「緊急時などに子どもを一時的に預かってほしい」の順に多くなっています。

●就学前、小学生ともに前回調査結果と概ね同様の傾向となっています。

【就学前調査】

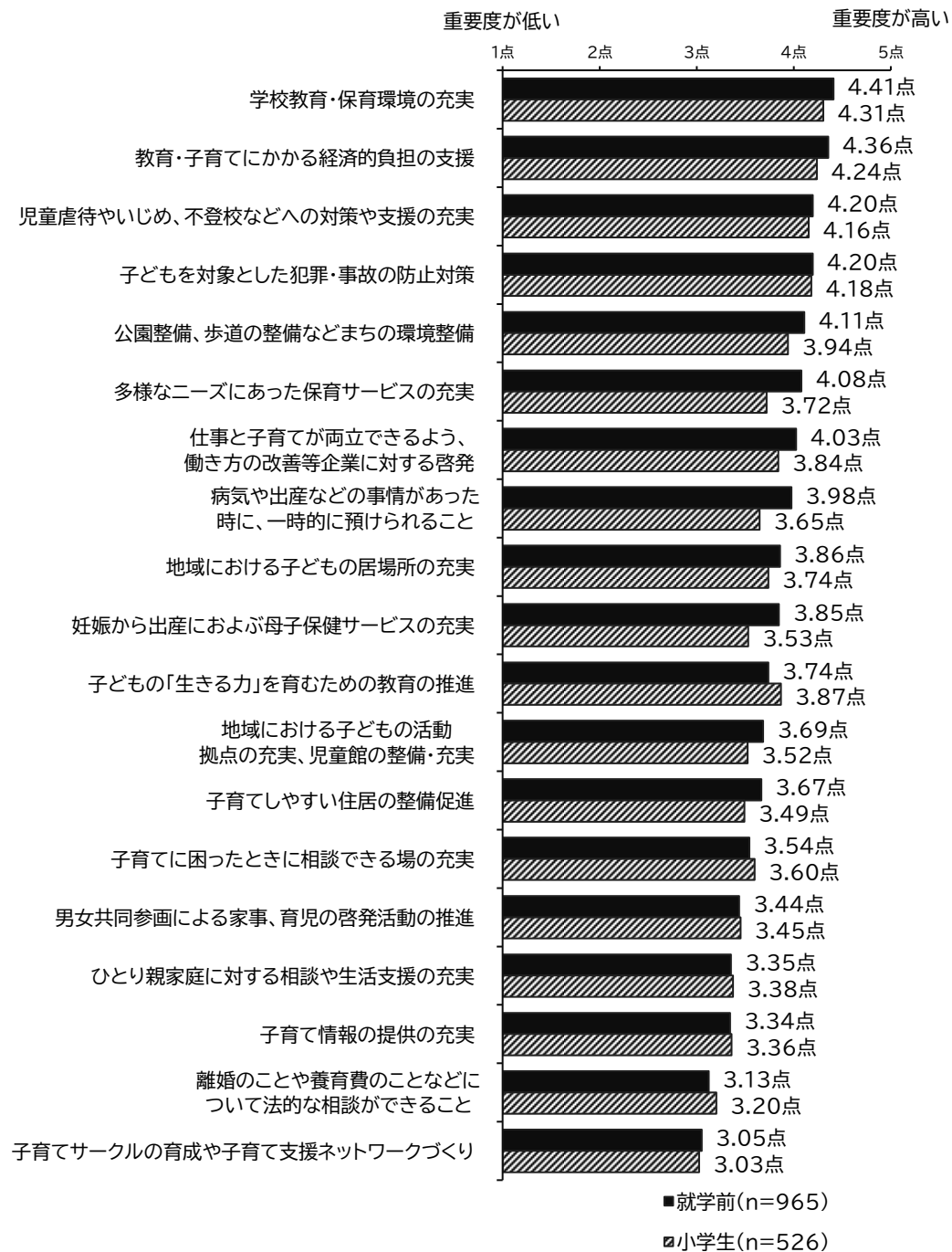


【小学生調査】



(3) 栗東市に対して望む子育て支援策（マトリックス回答）

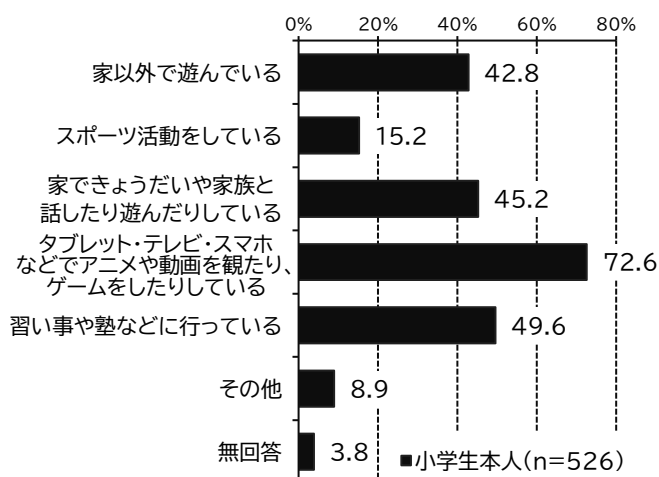
●本市に望む支援策について重要度を1～5段階でたずねた結果をそれぞれの項目の平均点で比較すると、第1位から第5位までの項目は就学前と小学校で共通しており、「学校教育・保育環境の充実」「教育・子育てにかかる経済的負担の支援」「児童虐待やいじめ、不登校などへの対策や支援の充実」「子どもを対象とした犯罪・事故の防止対策」「公園整備、歩道の整備などまちの環境整備」の順で重要度の高い結果となっています。



8. 小学生本人へのアンケート

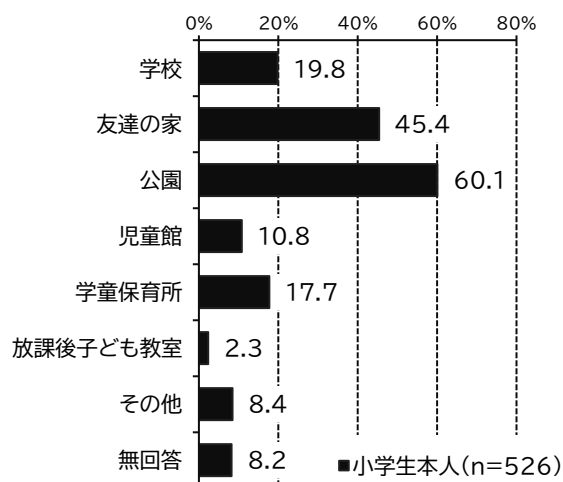
(1) 放課後の過ごし方（複数回答）

●放課後の過ごし方は、「タブレット・テレビ・スマホなどでアニメや動画を観たり、ゲームをしたりしている」が 72.6%、「習い事や塾などに行っている」が 49.6%、「家できょうだいや家族と話したり遊んだりしている」が 45.2%となっています。



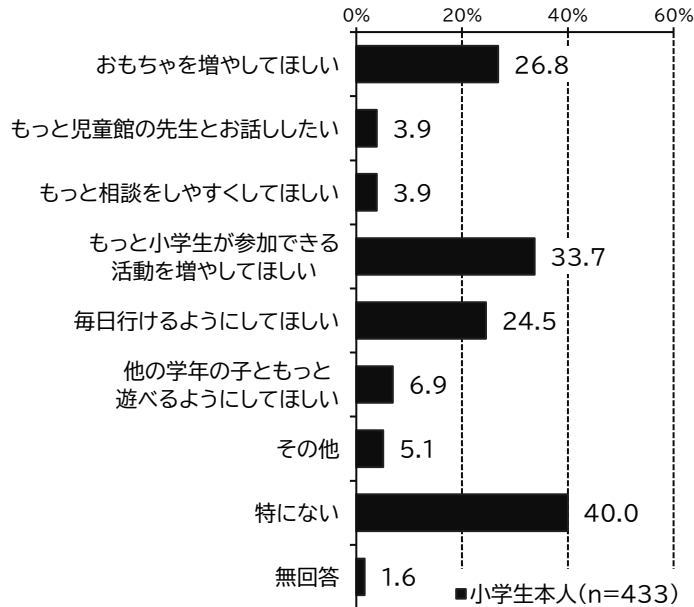
(2) 自宅以外の遊ぶ場所（複数回答）

●自宅以外の遊ぶ場所は、「公園」が 60.1%、「友達の家」が 45.4%、「学校」が 19.8%、「学童保育所」が 17.7%となっています。



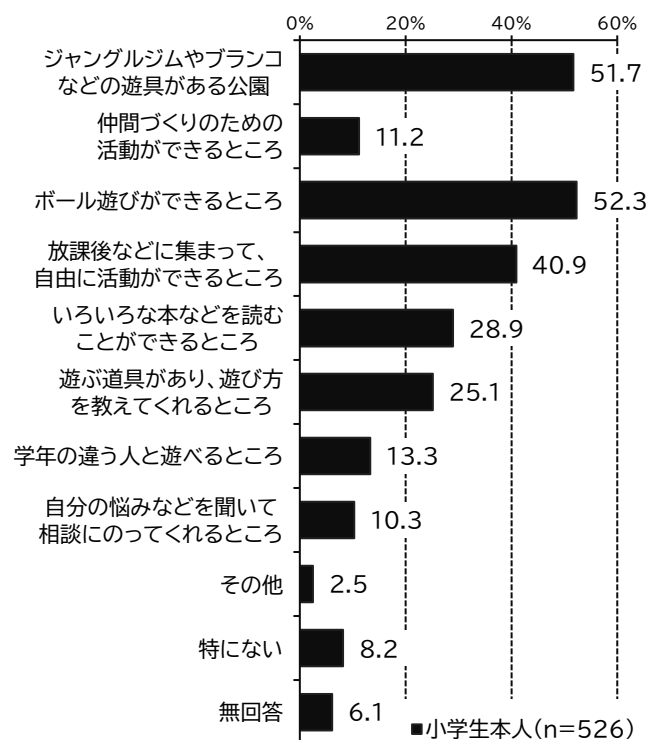
(3) 児童館を使いやすくするためにしてほしいこと（複数回答）

●児童館を使いやすくするためにしてほしいことは、「特にない」が40.0%、「もっと小学生が参加できる活動を増やしてほしい」が33.7%、「おもちゃを増やしてほしい」が26.8%、「毎日行けるようにしてほしい」が24.5%となっています。



(4) 家の近くにあれば行きたいと思う遊び場（複数回答）

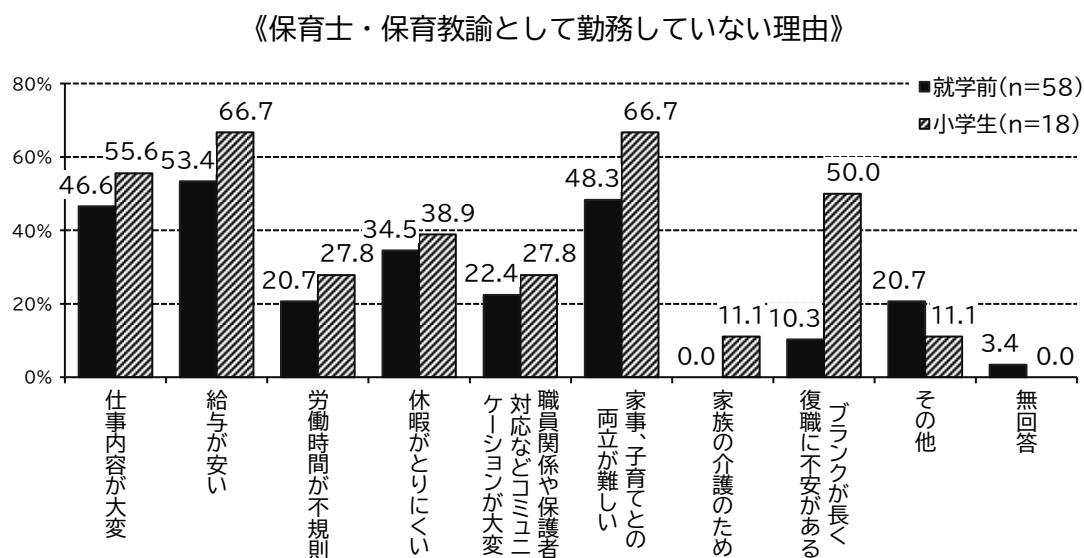
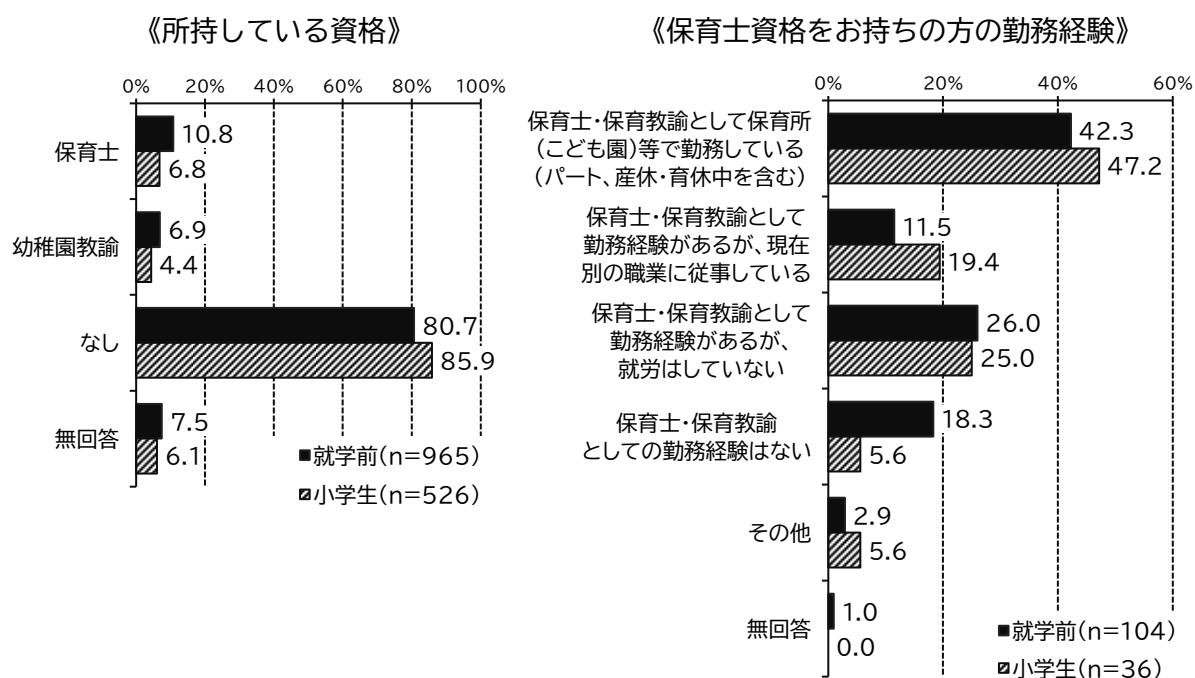
●家の近くにあれば行きたいと思う遊び場では、「ボール遊びができるところ」が52.3%、「ジャングルジムやブランコなどの遊具がある公園」が51.7%、「放課後などに集まって、自由に活動ができるところ」が40.9%となっています。



9. 潜在保育士の就労状況

(1) 回答者および家族の所持している資格と保育士資格をお持ちの方の勤務経験（複数回答）

- 回答者および家族の所持している資格については、「保育士」資格を就学前児童の保護者で10.8%、小学生児童の保護者で6.8%、「幼稚園教諭」免許を就学前児童の保護者で6.9%、小学生児童の保護者で4.4%の方が所持されています。
- 保育士資格を所持している方の勤務経験は、「保育士・保育教諭として保育所(こども園)等で勤務している(パート、産休・育休中を含む)」が、就学前児童、小学生の保護者ともに最も多く、それぞれ42.3%、47.2%となっています。
次いで高いのは、就学前児童、小学生の保護者ともに「保育士・保育教諭として勤務経験があるが、就労はしていない」で25.0%以上となっています。
- 保育士・保育教諭として勤務していない理由は、就学前児童の保護者では「給与が安い」、小学生の保護者では「給与が安い」「家事、子育てとの両立が難しい」が最も多くなっています。



栗東市子育て支援に関するアンケート調査結果報告書概要版

令和6年5月

編集・発行：栗東市役所 こども家庭局 子育て支援課

住所：〒520-3088 滋賀県栗東市安養寺一丁目13番33号

TEL：077-551-0138

FAX：077-552-9320